

事務事業一覧表

施策コード	事業名称	部局名	所属名	シート区分	ページ
21122	(上水)震災対策事業(施設耐震化)(建設整備課分)	公営企業局	水道整備課	シートB	2
21122	(工水)震災対策事業(施設耐震化)	公営企業局	水道整備課	シートB	4
21122	(上水)施設更新・改良事業(安全・安心)	公営企業局	水道整備課	シートB	6
21122	(簡水・中島)簡易水道施設整備事業	公営企業局	水道整備課	シートB	8
51211	(上水)施設更新・改良事業(建設整備課分)	公営企業局	水道整備課	シートA	10
51211	(上水)導・送・配水管整備事業(建設整備課分)	公営企業局	水道整備課	シートA	11
53323	(上水)漏水防止対策事業(建設整備課分)	公営企業局	水道整備課	シートA	12

令和3年度 松山市 事務事業シート <シートB>

評価実施年度	令和3年度	評価対象年度	令和2年度
--------	-------	--------	-------

令和3年度	部局等名	公営企業局	課等名	水道整備課	担当グループ名	管理計画担当	連絡先	998-9841	
	部等長名	宇野 一生	課等長名	奥村 栄二	リーダー名	主幹	日野坪 信彦	担当者名	副主幹 藤本 研之介
令和2年度	部局等名	公営企業局	課等名	建設整備課	担当グループ名	管理計画担当	連絡先	998-9841	
	部等長名	宇野 一生	課等長名	大西 仁	リーダー名	主幹	日野坪 信彦	担当者名	副主幹 日野 啓典

1. 事業概要【Plan】 ※令和2年度の内容

事務事業名(施策コード)	21122	(上水)震災対策事業(施設耐震化)(建設整備課分)			事業性質	1-1:自治事務(実施規定なし)	事業区分	4:工事(工事に伴う設計委託含む)	
基本目標	生活に安らぎのあるまち【安全・安心】				笑顔プログラム	313	個別プログラム	笑顔を守るプログラム	
政策	災害等に強いまちをつくる						重点プロジェクト	みんなで守り助け合う「安心して暮らせるまちづくり」プロジェクト	
施策	防災対策等の推進						主な取り組み	耐震化対策の推進	
主な取り組み	市有施設の耐震化				市長公約	332	みんなで助け合い、安心して暮らせる松山をつくります		
取り組みの柱	上下水道施設の耐震化						空き家対策やリフォームのほか、木造住宅の耐震化を支援し、住環境をさらに整えます。また、西条分水を基本にした新規水源の確保など、安心して暮らせるまちづくりに取り組みます。		
総合戦略	4223	基本目標	④住み続けたいまちをつくる(持続可能なまちづくり)			取組み	③ 地震等の災害に備え、水道事業では主要な水道管である基幹管路の耐震化を進めます。さらに、救急医療機関や指定避難所になる小中学校など重要施設への給水ルートを確保するため、計画的に水道管の耐震化を進めます。また、下水道事業では平時時から机上型訓練を実施し、被災時に十分機能する体制を強化するとともに、施設の耐震化及び災害用トイレの設置を行います。さらに、大きな浸水被害等が想定される箇所に対し、重点的な対策を計画的に進めます。		
		政策	②生活の質と都市力の向上						
		施策	②安全・安心な暮らしの推進						
総合計画の実施計画掲載有無(R2)		1:有り	重点的取組事業該当有無(R2)		1:有り				

根拠法令,条例,個別計画等	「水道ビジョンまつやま2009」、「水道ビジョンまつやま2019」、「基幹管路の耐震化基本構想」							
事業の目的(どのような状態にするか)	・甚大な被害が予想される地震等への対策として、水道施設の耐震化を図ることを目的とする。							
背景(どのような経緯で開始したか)	・阪神大震災や東日本大震災により、水道施設が甚大な被害を受け、市民生活や都市活動に大きな影響を及ぼしたことから、地震等の災害に強い水道の構築が急がれる。							
対象・事業内容(誰に対して,何をやるのか)	・上水道施設 基幹管路(導水管・送水管・配水本管)、主要な配水池、給水ルート等 耐震化工事に伴う測量設計等へ委託料を支出 耐震化の工事等へ工事請負費を支出							
受益者負担の状況	負担の有無			「有り」の場合、基準や金額等 「無し」の場合、その理由				
始期・終期(年度)	平成	21	～	令和	32	終期の種別	1:事業の終了時期	

2. 事業実施に係る資源の投入量【Do】

予算科目	会計	水道事業会計	款	資本的支出ほか		項	水道建設改良費ほか	目	水道施設整備事業費ほか	R2 予算措置時期	当初	繰越
				R元年度	R2年度							
現計予算額(A) (単位:千円)							4,016,740		5,019,021			5,010,764
決算額(B) (単位:千円)							1,625,566		2,986,973			
内訳 (単位:千円) ※R元→R2 決算内訳, R3→予算内訳				国支出金			0		0			0
				県支出金			0		0		0	
				市債			595,400		2,480,626		3,713,968	
				その他			297,100		389,363		462,575	
			一般財源			733,066		116,984			834,221	
主な経費(単位:千円) ※R2→決算,R3→予算						・基幹管路の耐震化:2,633,697千円 ・重要施設への給水ルートの確保:271,559千円		・基幹管路の耐震化:4,381,980千円 ・重要施設への給水ルートの確保:315,996千円				
特記事項(単位:千円) ※繰越,補正,流用,事業統合等						・決算額のうち、2,031,593千円は前年度繰越分		・予算額のうち、2,248,860千円は前年度繰越分 ・R3年度から応急給水栓の設置78,646千円含む。				
予算執行残額(単位:千円)				(A)-(B)		2,391,174		2,032,048				

※決算額(内訳含む。)は四捨五入のため、実際の額とは異なる場合あり。

3. 前年度(R2年度)の事業検証・改善【Check・Action】

主な取り組み内容	・基幹管路の耐震化(導水管・送水管・配水本管)工事[5件 L=1,500m] ・重要施設への給水ルートの確保の工事[4件 L=1,974m 味酒小、雄郡小、小野中、三津浜中]											
主な取り組み内容の達成度	↓	↑:年度当初目標以上 →:年度当初目標どおり ↓:年度当初目標以下		左記の理由として良かった点,悪かった点など		・国交省など関係者との協議に日数を要した工事などがあり、一部の工事で進捗が遅れた。						
施策への貢献度(目的の達成度を含む)	1:貢献している		左記の理由		・施設の耐震化が図れ、防災対策の推進に貢献している。							
事業の公共性	必要性	1	1:日常生活に不可欠(必需) 2:日常生活に不可欠ではない(選択) 3:どちらにも該当しない			公益性	1	1:より多くの市民に提供(共同型) 2:特定の個人・団体等に提供(個人型) 3:どちらにも該当しない				
R2年度終了までに把握している環境の変化,障害,課題となっている事項	・年々、交通量の多い市街地や幹線道路での口径の大きな水道管の布設工事が多くなることから、市民生活に影響を及ぼさない施工方法を検討する必要がある。											
R3年度の目標	・計画どおり工事発注を行い、早期の完成を目指す。			R3年度の主な取り組み内容(予定含む)			・基幹管路の耐震化 ・主要な配水池の耐震化 ・重要施設への給水ルートの確保			特に環境変化,障害,課題等解決のため,R3年度で取り組む改善策		

【活動指標】とは…事業の具体的な活動量(アウトプット/「市」が何をしたか)

【成果指標】とは…事業実施により得られる成果(アウトカム/活動の結果、「市民等」がどうなったか)

<業績の分析>

目標達成度	指標名	単位	区分	H30年度	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	最終目標		
活動指標 (3つまで設定可)	重要施設への給水ルートの耐震化状況	箇所数	目標値	38	38	38	38	38	目標値	38	
			実績値	20	23	27			達成年度	R10年度	
			% 達成度	52.6	60.5	71.1					
	指標の種類	3:累計での増加を目指す指標					最終目標値の設定の考え方	・「松山市地域防災計画」で位置付けている緊急医療機関14か所と救護所24箇所の計38箇所への給水ルート数を目標値とする。			
	本指標の設定理由	・重要施設(救急医療機関・救護所)までの給水ルートの耐震化を示す指標。									
			目標値							目標値	
			実績値							達成年度	
			% 達成度								
	指標の種類						最終目標値の設定の考え方				
	本指標の設定理由										
			目標値							目標値	
			実績値							達成年度	
% 達成度											
指標の種類						最終目標値の設定の考え方					
本指標の設定理由											
成果指標 (3つまで設定可)	基幹管路の耐震適合率	%	目標値	48.0	48.0	48.0	48.0	48.0	目標値	48.0	
			実績値	36.3	36.7	36.7			達成年度	R10年度	
			% 達成度	75.6	76.5	76.5					
	指標の種類	3:累計での増加を目指す指標					最終目標値の設定の考え方	・「水道ビジョンまつやま2019」で目標値を設定			
	本指標の設定理由	・基幹管路の総延長のうち耐震適合性のあるものの割合を示す指標									
			目標値							目標値	
			実績値							達成年度	
			% 達成度								
	指標の種類						最終目標値の設定の考え方				
	本指標の設定理由										
			目標値							目標値	
			実績値							達成年度	
% 達成度											
指標の種類						最終目標値の設定の考え方					
本指標の設定理由											
上記指標の実績に対する評価(達成又は未達成要因の分析)	活動指標	・概ね計画どおり達成できているため、引き続き最終目標の達成に向けて取り組む。									
	成果指標	・各関係者との協議で不測の日数を要したなどにより、次年度へ繰越す工事もあったが、指標の成果としては概ね計画どおり進んでいる。									
上記の指標以外に、指標では表すことができない定性的な成果がある場合、その内容											

令和3年度	部局等名	公営企業局	課等名	水道整備課	担当グループ名	管理計画担当	連絡先	998-9841	
	部等長名	宇野 一生	課等長名	奥村 栄二	リーダー名	主幹	日野坪 信彦	担当者名	副主幹 藤本 研之介
令和2年度	部局等名	公営企業局	課等名	建設整備課	担当グループ名	管理計画担当	連絡先	998-9841	
	部等長名	宇野 一生	課等長名	大西 仁	リーダー名	主幹	日野坪 信彦	担当者名	副主幹 日野 啓典

1. 事業概要【Plan】 ※令和2年度の内容

事務事業名(施策コード)	21122	(工水)震災対策事業(施設耐震化)			事業性質	1-1:自治事務(実施規定なし)	事業区分	4:工事(工事に伴う設計委託含む)
基本目標	生活に安らぎのあるまち【安全・安心】				笑顔プログラム	個別プログラム	-	
政策	災害等に強いまちをつくる					重点プロジェクト	-	
施策	防災対策等の推進					主な取り組み	-	
主な取り組み	市有施設の耐震化				市長公約	-		
取り組みの柱	上下水道施設の耐震化					-		
総合戦略	基本目標	-			取組み	-		
	政策	-				-		
	施策	-				-		
総合計画の実施計画掲載有無(R2)	1:有り	重点的取組事業該当有無(R2)		2:無し				
根拠法令,条例,個別計画等	「松山市工業用水道施設更新基本計画」							

事業の目的(どのような状態にするか)	・甚大な被害が予想される地震等への対策として、水道施設の耐震化を図ることを目的とする。							
背景(どのような経緯で開始したか)	・工業用水管路全線の耐震化には多額の事業費と長期にわたる工事期間を要することから、事業費の縮減及び工期の短縮を図るため、松山外環状道路整備事業と併せて行う。							
対象・事業内容(誰に対して,何をやるのか)	・工業用水道施設 耐震化工事に伴う測量設計等へ委託料を支出 耐震化の工事等へ工事請負費を支出							
受益者負担の状況	負担の有無	-		「有り」の場合,基準や金額等 「無し」の場合,その理由		-		
始期・終期(年度)	平成	21	～	令和	5	終期の種別	1:事業の終了時期	

2. 事業実施に係る資源の投入量【Do】

予算科目	会計	工業用水道事業会計	款	資本的支出		工業用水道建設改良費	目	工業用水道施設整備事業費ほか	R2 予算措置時期	当初	繰越
				R元年度	R2年度						
現計予算額(A)(単位:千円)						1,071,860		1,099,470			539,460
決算額(B)(単位:千円)						524,879		606,621			
内訳(単位:千円) ※R元→R2 決算内訳, R3→予算内訳				国支出金		0		0			0
				県支出金		0		0		0	
				市債		300,000		200,000		200,000	
				その他		0		0		0	
			一般財源		224,879		406,621			339,460	
主な経費(単位:千円) ※R2→決算,R3→予算							・工業用水道施設の耐震化:606,621千円			・工業用水道施設の耐震化:539,460千円	
特記事項(単位:千円) ※繰越,補正,流用,事業統合等							・決算額のうち,555,251千円は前年度繰越分			・予算額のうち,427,700千円は前年度繰越分	
予算執行残額(単位:千円)			(A)-(B)			546,981		492,849			

※決算額(内訳含む。)は四捨五入のため,実際の額とは異なる場合あり。

3. 前年度(R2年度)の事業検証・改善【Check・Action】

主な取り組み内容	・工業用水道の耐震化工事[5件 L=354m]										
主な取り組み内容の達成度	→	↑:年度当初目標以上 →:年度当初目標どおり ↓:年度当初目標以下		左記の理由として良かった点,悪かった点など		・松山外環状道路整備事業と工程調整を適切に行っているため,事業費の縮減や工期の短縮を図りながら概ね計画どおりに実施できた。					
施策への貢献度(目的の達成度を含む)	1:貢献している		左記の理由			施設の耐震化が図れ,防災対策の推進に貢献している。					
事業の公共性	必要性	1	1:日常生活に不可欠(必需) 2:日常生活に不可欠ではない(選択) 3:どちらにも該当しない			公益性	2	1:より多くの市民に提供(共同型) 2:特定の個人・団体等に提供(個人型) 3:どちらにも該当しない			
R2年度終了までに把握している環境の変化,障害,課題となっている事項	・松山外環状道路整備事業に併せて布設することから,その進捗によって本事業の進捗も影響を受ける。										
R3年度の目標	・計画どおり工事発注を行い,早期の完成を目指す。			R3年度の主な取り組み内容(予定含む)		・工業用水管の耐震化		特に環境変化,障害,課題等解決のため,R3年度で取り組み改善策		・松山外環状道路整備事業の施行者である国・県・市及び他の地下埋設事業者であるガス事業者等と連絡調整を密にし,円滑な事業進捗を目指す。	

【活動指標】とは…事業の具体的な活動量(アウトプット/「市」が何をしたか)

【成果指標】とは…事業実施により得られる成果(アウトカム/活動の結果、「市民等」がどうなったか)

<業績の分析>

目標達成度	指標名	単位	区分	H30年度	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	最終目標		
活動指標 (3つまで設定可)	工水送水管布設延長	m	目標値	6,990.0	6,990.0	6,990.0	6,990.0	6,990.0	目標値	6,990	
			実績値	5,304.6	5,854.1	6,207.9			達成年度	R5年度	
			% 達成度	75.9	83.7	88.8					
	指標の種類	3:累計での増加を目指す指標							最終目標値の設定の考え方	・松山市工業用水道施設更新基本計画(第1期)の一部見直しにより設定。	
	本指標の設定理由	・本事業の目標とする指標であるため。									
				目標値						目標値	
				実績値						達成年度	
				% 達成度							
	指標の種類								最終目標値の設定の考え方		
	本指標の設定理由										
				目標値						目標値	
				実績値						達成年度	
% 達成度											
指標の種類								最終目標値の設定の考え方			
本指標の設定理由											
成果指標 (3つまで設定可)			目標値						目標値		
			実績値						達成年度		
			% 達成度								
	指標の種類								最終目標値の設定の考え方		
	本指標の設定理由										
				目標値						目標値	
				実績値						達成年度	
				% 達成度							
	指標の種類								最終目標値の設定の考え方		
	本指標の設定理由										
	上記指標の実績に対する評価(達成又は未達成要因の分析)	活動指標	・松山外環状道路整備事業の施行者である国・県・市及び他の地下埋設事業者であるガス事業者等と連絡調整を密にし、概ね目標を達成している。								
		成果指標									
上記の指標以外に、指標では表すことができない定性的な成果がある場合、その内容											

令和3年度	部局等名	公営企業局	課等名	水道整備課	担当グループ名	管理計画担当	連絡先	998-9841	
	部等長名	宇野 一生	課等長名	奥村 栄二	リーダー名	主幹	日野坪 信彦	担当者名	副主幹 藤本 研之介
令和2年度	部局等名	公営企業局	課等名	建設整備課	担当グループ名	管理計画担当	連絡先	998-9841	
	部等長名	宇野 一生	課等長名	大西 仁	リーダー名	主幹	日野坪 信彦	担当者名	副主幹 日野 啓典

1. 事業概要【Plan】 ※令和2年度の内容

事務事業名(施策コード)	21122	(上水)施設更新・改良事業(安全・安心)			事業性質	1-1:自治事務(実施規定なし)	事業区分	4:工事(工事に伴う設計委託含む)
基本目標	生活に安らぎのあるまち【安全・安心】				笑顔プログラム	313	個別プログラム	笑顔を守るプログラム
政策	災害等に強いまちをつくる						重点プロジェクト	みんなで守り助け合う「安心して暮らせるまちづくり」プロジェクト
施策	防災対策等の推進						主な取り組み	耐震化対策の推進
主な取り組み	市有施設の耐震化				市長公約			
取り組みの柱	上下水道施設の耐震化							
総合戦略	基本目標	-			取組み	-		
	政策	-						
	施策	-						
総合計画の実施計画掲載有無(R2)	1:有り	重点的取組事業該当有無(R2)	1:有り					
根拠法令,条例,個別計画等	「水道ビジョンまつやま2019」、「硬質塩化ビニル管等の更新計画」							
事業の目的(どのような状態にするか)	・甚大な被害が予想される地震等への対策として、水道施設の耐震化を図ることを目的とする。							
背景(どのような経緯で開始したか)	・老朽が進む水道管(配水支管)の中でも、材質面で安全性に劣る硬質塩化ビニル管(VP)が今後更新時期を迎えることで漏水のリスクが高まっていることから、より安全性に優れた耐震管への布設替えが急がれる。							
対象・事業内容(誰に対して,何をやるのか)	・上水道施設 配水支管(硬質塩化ビニル管等) 老朽管路(硬質塩化ビニル管等)更新工事に伴う測量設計等へ委託料を支出 老朽管路(硬質塩化ビニル管等)更新工事へ工事請負費を支出							
受益者負担の状況	負担の有無	[有り]の場合,基準や金額等 [無し]の場合,その理由						
始期・終期(年度)	令和	元	～	令和	20	終期の種別	1:事業の終了時期	

2. 事業実施に係る資源の投入量【Do】

予算科目	会計	水道事業会計	款	資本的支出		項	水道建設改良費	目	水道施設整備事業費ほか	R2 予算措置時期	当初	繰越	
				R元年度	R2年度					R3年度			
現計予算額(A)(単位:千円)							1,918,235		2,652,499			2,623,682	
決算額(B)(単位:千円)							1,164,906		2,115,557				
内訳(単位:千円) ※R元→R2 決算内訳, R3→予算内訳				国支出金			0		0			0	
				県支出金			0		0		0		0
				市債			576,300		40,374		93,332		
				その他			108,500		6,337		11,625		
			一般財源			480,106		2,068,846			2,518,725		
主な経費(単位:千円) ※R2→決算,R3→予算				硬質塩化ビニル管の更新:2,115,557千円				硬質塩化ビニル管の更新:2,623,682千円					
特記事項(単位:千円) ※繰越,補正,流用,事業統合等				決算額のうち,755,227千円は前年度繰越分				予算額のうち,650,200千円は前年度繰越分 ・R3年度から事業を水道管路管理センターに事務移管					
予算執行残額(単位:千円)				(A)-(B)			753,329		536,942				

※決算額(内訳含む。)は四捨五入のため、実際の額とは異なる場合あり。

3. 前年度(R2年度)の事業検証・改善【Check・Action】

主な取り組み内容	硬質塩化ビニル管の更新工事[42件 L=17,802m]											
主な取り組み内容の達成度	→	↑:年度当初目標以上 →:年度当初目標どおり ↓:年度当初目標以下	左記の理由として良かった点,悪かった点など	・年間を通じて、概ね計画どおりに工事を実施することができた。								
施策への貢献度(目的の達成度を含む)	1:貢献している	左記の理由	・施設の耐震化が図れ、防災対策の推進に貢献している。									
事業の公共性	必要性	1	1:日常生活に不可欠(必需) 2:日常生活に不可欠ではない(選択) 3:どちらにも該当しない	公益性	1	1:より多くの市民に提供(共同型) 2:特定の個人・団体等に提供(個人型) 3:どちらにも該当しない						
R2年度終了までに把握している環境の変化,障害,課題となっている事項	・特になし。											
R3年度の目標	・計画どおり工事発注を行い、早期の完成を目指す。			R3年度の主な取り組み内容(予定含む)	硬質塩化ビニル管の更新			特に環境変化,障害,課題等解決のため,R3年度で取り組む改善策			・特になし。	

【活動指標】とは…事業の具体的な活動量(アウトプット/「市」が何をしたか)

【成果指標】とは…事業実施により得られる成果(アウトカム/活動の結果、「市民等」がどうなったか)

<業績の分析>

目標達成度	指標名	単位	区分	H30年度	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	最終目標		
活動指標 (3つまで設定可)		%	目標値						目標値		
			実績値						達成年度		
			達成度								
	指標の種類				最終目標値の設定の考え方						
	本指標の設定理由										
		%	目標値							目標値	
			実績値						達成年度		
			達成度								
	指標の種類				最終目標値の設定の考え方						
	本指標の設定理由										
		%	目標値							目標値	
			実績値						達成年度		
達成度											
指標の種類				最終目標値の設定の考え方							
本指標の設定理由											
成果指標 (3つまで設定可)	ビニル管の残存率	%	目標値	8.1	8.1	8.1	8.1	8.1	目標値	8.1	
			実績値	14.6	13.9	13.2			達成年度	R10年度	
			達成度	55.5	58.3	61.8					
	指標の種類	4:累計での減少を目指す指標			最終目標値の設定の考え方		・「水道ビジョンまつやま2019」で目標値を設定。				
	本指標の設定理由	・管路の総延長に対するビニル管の延長の割合を示す指標。									
		%	目標値							目標値	
			実績値						達成年度		
			達成度								
	指標の種類				最終目標値の設定の考え方						
	本指標の設定理由										
		%	目標値							目標値	
			実績値						達成年度		
達成度											
指標の種類				最終目標値の設定の考え方							
本指標の設定理由											
上記指標の実績に対する評価(達成又は未達成要因の分析)	活動指標										
	成果指標	・概ね目標どおりに実施できているため、引き続き最終目標の達成に向けて取り組む。									
上記の指標以外に、指標では表すことができない定性的な成果がある場合、その内容											

令和3年度	部局等名	公営企業局	課等名	水道整備課	担当グループ名	管理計画担当	連絡先	998-9841	
	部等長名	宇野 一生	課等長名	奥村 栄二	リーダー名	主幹	日野坪 信彦	担当者名	副主幹 藤本 研之介
令和2年度	部局等名	公営企業局	課等名	建設整備課	担当グループ名	管理計画担当	連絡先	998-9841	
	部等長名	宇野 一生	課等長名	大西 仁	リーダー名	主幹	日野坪 信彦	担当者名	副主幹 日野 啓典

1. 事業概要【Plan】 ※令和2年度の内容

事務事業名(施策コード)	21122	(簡水・中島)簡易水道施設整備事業			事業性質	1-1:自治事務(実施規定なし)	事業区分	4:工事(工事に伴う設計委託含む)	
基本目標	生活に安らぎのあるまち【安全・安心】				笑顔プログラム	313	個別プログラム	笑顔を守るプログラム	
政策	災害等に強いまちをつくる						重点プロジェクト	みんなで守り助け合う「安心して暮らせるまちづくり」プロジェクト	
施策	防災対策等の推進						主な取り組み	耐震化対策の推進	
主な取り組み	市有施設の耐震化				市長公約				
取り組みの柱	上下水道施設の耐震化								
総合戦略	4223	基本目標	④住み続けたいまちをつくる(持続可能なまちづくり)			取組み	③ 地震等の災害に備え、水道事業では主要な水道管である基幹管路の耐震化を進めます。さらに、救急医療機関や指定避難所になる小中学校など重要施設への給水ルートを確保するため、計画的に水道管の耐震化を進めます。また、下水道事業では平常時から机上型訓練を実施し、被災時に十分機能する体制を強化するとともに、施設の耐震化及び災害用トイレの設置を行います。さらに、大きな浸水被害等が想定される箇所に対し、重点的な対策を計画的に進めます。		
		政策	②生活の質と都市力の向上						
		施策	②安全・安心な暮らしの推進						
総合計画の実施計画掲載有無(R2)		1:有り	重点的取組事業該当有無(R2)	1:有り					

根拠法令,条例,個別計画等 「合併建設計画」、「中島地区簡易水道東中島地区の配水管整備計画」

事業の目的(どのような状態にするか)	・簡易水道の施設整備を実施し、安定給水の確保を目的とする。 ・東中島地区での管路事故などのリスクを低減し、併せて病院や避難所等の重要施設までの給水ルートを確保するため、主要な配水管を更新し耐震化を図ることを目的とする。							
背景(どのような経緯で開始したか)	・中島各島に分散している簡易水道施設の異常時に迅速に対応するため、各簡易水道施設の情報を集中管理する必要がある。 ・特に東中島地区は、法定耐用年数を超えた配水管が多く、中島地区簡易水道の中で給水人口も最も多いことから管路事故が発生した場合の影響が大きい。老朽化した配水管の耐震化が急がれる。							
対象・事業内容(誰に対して、何をやるのか)	・中島地区簡易水道施設 遠隔監視装置工事を実施する。 老朽管路(塩化ビニル管)更新工事に伴う測量設計等へ委託料を支出 老朽管路(塩化ビニル管)更新工事へ工事費を支出							
受益者負担の状況	負担の有無			「有り」の場合、基準や金額等 「無し」の場合、その理由				
始期・終期(年度)	平成	21	～	令和	7	終期の種別	1:事業の終了時期	

2. 事業実施に係る資源の投入量【Do】

予算科目	会計	簡易水道事業会計	款	中島地区簡易水道資本的支出	項	簡易水道建設改良費	目	簡易水道施設整備事業費	R2 予算措置時期	当初
				R元年度		R2年度		R3年度		
現計予算額(A) (単位:千円)				48,910		96,900		163,400		
決算額(B) (単位:千円)				45,653		82,833				
内訳 (単位:千円) ※R元→R2 決算内訳, R3→予算内訳	国支出金			0		0		0		
	県支出金			17,600		26,865		42,810		
	市債			11,300		19,900		23,100		
	その他			9,200		16,600		17,900		
一般財源			7,553		19,468		79,590			
主な経費(単位:千円) ※R2→決算,R3→予算						配水管の更新:82,833千円		配水管の更新:163,400千円		
特記事項(単位:千円) ※繰越,補正,流用,事業統合等								予算額のうち、9,600千円は前年度繰越分		
予算執行残額 (単位:千円)				(A)-(B)		3,257		14,067		

※決算額(内訳含む。)は四捨五入のため、実際の額とは異なる場合あり。

3. 前年度(R2年度)の事業検証・改善【Check・Action】

主な取り組み内容	・東中島地区の配水管の更新工事[2件 L=1,542m]								
主な取り組み内容の達成度	→	↑:年度当初目標以上 →:年度当初目標どおり ↓:年度当初目標以下	左記の理由として良かった点,悪かった点など	・概ね計画どおり工事の進捗させた。					
施策への貢献度(目的の達成度を含む)	1:貢献している	左記の理由		・施設の耐震化が図れ、防災対策の推進に貢献している。					
事業の公共性	必要性	1	1:日常生活に不可欠(必需) 2:日常生活に不可欠ではない(選択) 3:どちらにも該当しない	公益性	1	1:より多くの市民に提供(共同型) 2:特定の個人・団体等に提供(個人型) 3:どちらにも該当しない			
R2年度終了までに把握している環境の変化,障害,課題となっている事項	・特になし。								
R3年度の目標	計画どおり工事発注を行い、早期の完成を目指す。		R3年度の主な取り組み内容(予定含む)	・塩化ビニル管の更新		特に環境変化,障害,課題等解決のため,R3年度で取り組む改善策		・特になし。	

【活動指標】とは…事業の具体的な活動量(アウトプット/「市」が何をしたか)

【成果指標】とは…事業実施により得られる成果(アウトカム/活動の結果、「市民等」がどうなったか)

<業績の分析>

目標達成度	指標名	単位	区分	H30年度	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	最終目標		
活動指標 (3つまで設定可)	配水管整備延長	m	目標値		9,009	8,890	8,890	8,890	目標値	8,890	
			実績値		459	2,001			達成年度	R7年度	
			% 達成度		5.1	22.5					
	指標の種類	3:累計での増加を目指す指標					最終目標値の設定の考え方	・東中島地区配水管整備延長			
	本指標の設定理由	・本事業の目標とする指標であるため。									
				目標値						目標値	
				実績値						達成年度	
				% 達成度							
	指標の種類						最終目標値の設定の考え方				
	本指標の設定理由										
			目標値						目標値		
			実績値						達成年度		
			% 達成度								
指標の種類						最終目標値の設定の考え方					
本指標の設定理由											
成果指標 (3つまで設定可)			目標値						目標値		
			実績値						達成年度		
			% 達成度								
	指標の種類						最終目標値の設定の考え方				
	本指標の設定理由										
				目標値						目標値	
				実績値						達成年度	
				% 達成度							
	指標の種類						最終目標値の設定の考え方				
	本指標の設定理由										
上記指標の実績に対する評価(達成又は未達成要因の分析)	活動指標	・概ね計画どおり達成できているため、引き続き最終目標の達成に向けて取り組む。									
	成果指標										
上記の指標以外に、指標では表すことができない定性的な成果がある場合、その内容											

令和3年度 松山市 事務事業シート <シートA>

評価実施年度	令和3年度	評価対象年度	令和2年度
--------	-------	--------	-------

令和3年度	部局等名	公営企業局	課等名	水道整備課	担当グループ名	管理計画担当	連絡先	998-9841	
	部等長名	宇野 一生	課等長名	奥村 栄二	リーダー名	主幹	日野坪 信彦	担当者名	副主幹 藤本 研之介
令和2年度	部局等名	公営企業局	課等名	建設整備課	担当グループ名	管理計画担当	連絡先	998-9841	
	部等長名	宇野 一生	課等長名	大西 仁	リーダー名	主幹	日野坪 信彦	担当者名	副主幹 日野 啓典

1. 事業概要【Plan】 ※令和2年度の内容

事務事業名(施策コード)	51211	(上水)施設更新・改良事業(建設整備課分)			事業性質	1-1:自治事務(実施規定なし)	事業区分	4:工事(工事に伴う設計委託含む)
基本目標	緑の映える快適なまち【環境・都市】				笑顔プログラム	個別プログラム	-	
政策	快適な生活基盤をつくる					重点プロジェクト	-	
施策	上水道等の整備					主な取り組み	-	
主な取り組み	上水道等の建設・維持				市長公約	-		
取り組みの柱	施設の建設改良					-		
総合戦略	基本目標	-				取組み	-	
	政策	-					-	
	施策	-					-	
総合計画の実施計画掲載有無(R2)		2:無し	重点的取組事業該当有無(R2)	2:無し				
根拠法令,条例,個別計画等	「水道ビジョンまつやま2009」、「水道ビジョンまつやま2019」							
事業の目的(どのような状態にするか)	・上水道施設を整備することで、安定給水の確保を目的とする。							
背景(どのような経緯で開始したか)	・上水道施設の老朽化に伴い計画的に更新を行う必要がある。							
対象・事業内容(誰に対して,何をやるのか)	・上水道施設 施設更新に伴う計画・設計業務等へ委託料を支出 電算設備ソフトウェアの改造等へ委託料を支出 施設更新工事等へ工事請負費を支出							
受益者負担の状況	負担の有無	-		「有り」の場合,基準や金額等 「無し」の場合,その理由		-		
始期・終期(年度)	平成	28	～	令和	10	終期の種別	2:事業の継続・終了の検討時期	

2. 事業実施に係る資源の投入量【Do】

予算科目	会計	水道事業会計	款	資本的支出		項	水道建設改良費	目	取水施設費	R2予算措置時期	繰越
				R元年度	R2年度						
現計予算額(A)(単位:千円)							108,100		15,200		64,850
決算額(B)(単位:千円)							91,110		17,758		
内訳(単位:千円) ※R元→R2 決算内訳, R3→予算内訳			国支出金				0		0		0
			県支出金				0		0		0
			市債				0		0		0
			その他				0		0		0
			一般財源				91,110		17,758		64,850
主な経費(単位:千円) ※R2→決算,R3→予算								転倒堰改良のための設計委託:17,758千円		転倒堰維持管理用地整備:64,850千円	
特記事項(単位:千円) ※繰越,補正,流用,事業統合等								決算額は全額前年度からの繰越分			
予算執行残額(単位:千円)			(A)-(B)				16,990		-2,558		

※決算額(内訳含む。)は四捨五入のため、実際の額とは異なる場合あり。

3. 前年度(R2年度)の事業検証・改善【Check・Action】

主な取り組み内容	・転倒堰改良のための設計委託							
主な取り組み内容の達成度	→	↑:年度当初目標以上 →:年度当初目標どおり ↓:年度当初目標以下		左記の理由として良かった点,悪かった点など		・予定どおり事業を実施した。		
施策への貢献度(目的の達成度を含む)	1:貢献している		左記の理由		・更新工事に向け、委託業務を計画どおり実施できたため。			
事業の公共性	必要性	1	1:日常生活に不可欠(必需) 2:日常生活に不可欠ではない(選択) 3:どちらにも該当しない		公益性	1	1:より多くの市民に提供(共同型) 2:特定の個人・団体等に提供(個人型) 3:どちらにも該当しない	
R2年度終了までに把握している環境の変化,障害,課題となっている事項	・特になし。							
R3年度の目標	・転倒堰改良工事に向け、管理用地の取得及び整備工事を予定どおり完了させること。		R3年度の主な取り組み内容(予定含む)		・転倒堰維持管理用地取得及び整備工事		特に環境変化,障害,課題等解決のため,R3年度で取り組む改善策	・特になし。

令和3年度 松山市 事務事業シート <シートA>

評価実施年度	令和3年度	評価対象年度	令和2年度
--------	-------	--------	-------

令和3年度	部局等名	公営企業局	課等名	水道整備課	担当グループ名	管理計画担当	連絡先	998-9841	
	部等長名	宇野 一生	課等長名	奥村 栄二	リーダー名	主幹	日野坪 信彦	担当者名	副主幹 藤本 研之介
令和2年度	部局等名	公営企業局	課等名	建設整備課	担当グループ名	管理計画担当	連絡先	990-9841	
	部等長名	宇野 一生	課等長名	大西 仁	リーダー名	主幹	日野坪 信彦	担当者名	副主幹 日野 啓典

1. 事業概要【Plan】 ※令和2年度の内容

事務事業名(施策コード)	51211	(上水)導・送・配水管整備事業(建設整備課分)				事業性質	1-1:自治事務(実施規定なし)	事業区分	4:工事(工事に伴う設計委託含む)	
基本目標	緑の映える快適なまち【環境・都市】				笑顔プログラム	個別プログラム	-			
政策	快適な生活基盤をつくる					重点プロジェクト	-			
施策	上水道等の整備					主な取り組み	-			
主な取り組み	上水道等の建設・維持				市長公約	-				
取り組みの柱	施設の建設改良					-				
総合戦略	基本目標	-				取組み	-			
	政策	-					-			
	施策	-					-			
総合計画の実施計画掲載有無(R2)		2:無し	重点的取組事業該当有無(R2)	2:無し						
根拠法令,条例,個別計画等	「水道ビジョンまつやま2009」、「水道ビジョンまつやま2019」									
事業の目的(どのような状態にするか)	・配水管を整備することで、安定給水の確保を目的とする。									
背景(どのような経緯で開始したか)	・配水管を整備することにより水圧不良等を改善するとともに、配水管のループ化を図ることで災害時等の断水被害等を最小限にする必要がある。 ・国・県・市が施工する道路の新設及び改良に併せて、配水管の効率的な整備拡充を行う。									
対象・事業内容(誰に対して,何をやるのか)	・上水道施設 配水管 管網整備に伴う測量設計等へ委託料を支出 管網整備に伴う工事等へ工事請負費を支出									
受益者負担の状況	負担の有無	-			「有り」の場合,基準や金額等 「無し」の場合,その理由	-				
始期・終期(年度)	平成	28	～	令和	10	終期の種別	2:事業の継続・終了の検討時期			

2. 事業実施に係る資源の投入量【Do】

予算科目	会計	水道事業会計	款	資本的支出		項	水道建設改良費	目	配水施設費	R2予算措置時期		当初	繰越
				R元年度	R2年度					R2年度	R3年度		
現計予算額(A)(単位:千円)							213,610		283,406				669,670
決算額(B)(単位:千円)							45,214		154,834				
内訳(単位:千円) ※R元→R2 決算内訳, R3→予算内訳				国支出金			0		0				0
				県支出金			0		0		0		0
				市債			0		0		0		0
				その他			0		0		0		0
			一般財源			45,214		154,834				669,670	
主な経費(単位:千円) ※R2→決算,R3→予算							・道路改良に伴う整備:85,549千円 ・配水管網整備工事:69,285千円		・道路改良に伴う整備:168,916千円 ・配水管網整備工事:107,802千円 ・松山駅周辺土地区画整理事業に伴う配水管整備事業:133,752千円				
特記事項(単位:千円) ※繰越,補正,流用,事業統合等							・決算額のうち,123,826千円は前年度繰越分		・予算額のうち,114,800千円は前年度繰越分 ・R3年度から下水道工事に伴う配水管の移設: 259,200千円が事務移管された。				
予算執行残額(単位:千円)		(A)-(B)				168,396		128,572					

※決算額(内訳含む。)は四捨五入のため、実際の額とは異なる場合あり。

3. 前年度(R2年度)の事業検証・改善【Check・Action】

主な取り組み内容	・道路改良工事に伴う配水管整備工事【2件 L=373m】 ・更新等に伴う配水管網整備工事【9件 L=748m】 ・松山駅周辺土地区画整理事業に伴う配水管整備工事											
主な取り組み内容の達成度	→	↑:年度当初目標以上 →:年度当初目標どおり ↓:年度当初目標以下		左記の理由として良かった点,悪かった点など			・予定どおり事業を実施した。					
施策への貢献度(目的の達成度を含む)	1:貢献している		左記の理由			・水道施設の構築により、安定給水の確保が図られる。						
事業の公共性	必要性	1	1:日常生活に不可欠(必需) 2:日常生活に不可欠ではない(選択) 3:どちらにも該当しない			公益性	1	1:より多くの市民に提供(共同型) 2:特定の個人・団体等に提供(個人型) 3:どちらにも該当しない				
R2年度終了までに把握している環境の変化,障害,課題となっている事項	・特になし。											
R3年度の目標	・計画どおり工事発注を行い、早期の完成を目指す。			R3年度の主な取り組み内容(予定含む)			・更新等に伴う配水管網整備 ・松山駅周辺土地区画整理事業に伴う配水管整備工事 ・下水道工事に伴う配水管等の移設改良			特に環境変化,障害,課題等解決のため,R3年度で取り組む改善策		

令和3年度	部局等名	公営企業局	課等名	水道整備課	担当グループ名	管理計画担当	連絡先	998-9841	
	部等長名	宇野 一生	課等長名	奥村 栄二	リーダー名	主幹	日野坪 信彦	担当者名	副主幹 藤本 研之介
令和2年度	部局等名	公営企業局	課等名	建設整備課	担当グループ名	管理計画担当	連絡先	998-9841	
	部等長名	宇野 一生	課等長名	大西 仁	リーダー名	主幹	日野坪 信彦	担当者名	副主幹 日野 啓典

1. 事業概要【Plan】 ※令和2年度の内容

事務事業名(施策コード)	53323	(上水)漏水防止対策事業(建設整備課分)			事業性質	1-1:自治事務(実施規定なし)	事業区分	4:工事(工事に伴う設計委託含む)
基本目標	緑の映える快適なまち【環境・都市】				笑顔プログラム	個別プログラム	-	
政策	豊かな自然と共生する					重点プロジェクト	-	
施策	節水型都市づくりの推進					主な取り組み	-	
主な取り組み	水資源の有効利用				市長公約	-		
取り組みの柱	漏水防止対策					-		
総合戦略	基本目標	-			取組み	-		
	政策	-				-		
	施策	-				-		
総合計画の実施計画掲載有無(R2)		2:無し	重点的取組事業該当有無(R2)	2:無し				
根拠法令,条例,個別計画等	「水道ビジョンまつやま2009」、「水道ビジョンまつやま2019」							
事業の目的(どのような状態にするか)	・上水道施設の漏水防止対策を行うことで、水資源を有効活用することを目的とする。							
背景(どのような経緯で開始したか)	・水資源の有効活用の観点から、漏水防止を有効な手段と位置付け、給水圧コントロールシステムを導入する。							
対象・事業内容(誰に対して,何をやるのか)	・上水道施設 水圧調整局等 水圧調整局当更新工事に伴う測量設計等への委託料を支出 水圧調整局等更新工事等へ工事請負費を支出							
受益者負担の状況	負担の有無	-			「有り」の場合,基準や金額等 「無し」の場合,その理由	-		
始期・終期(年度)	平成 28	～	令和 10	終期の種別	2:事業の継続・終了の検討時期			

2. 事業実施に係る資源の投入量【Do】

予算科目	会計	水道事業会計	款	資本的支出		項	水道建設改良費	目	配水施設費	R2予算措置時期	当初
				R元年度	R2年度					R2年度	R3年度
現計予算額(A)(単位:千円)							15,000		9,500		9,500
決算額(B)(単位:千円)							5,056		0		
内訳(単位:千円) ※R元→R2 決算内訳, R3→予算内訳			国支出金				0		0		0
			県支出金				0		0		0
			市債				0		0		0
			その他				0		0		0
			一般財源				5,056		0		9,500
主な経費(単位:千円) ※R2→決算,R3→予算										西部(1)水圧調整局更新工事:9,500千円	
特記事項(単位:千円) ※繰越,補正,流用,事業統合等										予算額は全額前年度からの繰越分	
予算執行残額(単位:千円)			(A)-(B)				9,944		9,500		

※決算額(内訳含む。)は四捨五入のため、実際の額とは異なる場合あり。

3. 前年度(R2年度)の事業検証・改善【Check・Action】

主な取り組み内容	・西部(1)水圧調整局用地の造成工事							
主な取り組み内容の達成度	→	↑:年度当初目標以上 →:年度当初目標どおり ↓:年度当初目標以下	左記の理由として良かった点,悪かった点など	・当初の予定からは遅れたが、概ね事業を実施できた。				
施策への貢献度(目的の達成度を含む)	1:貢献している	左記の理由	・漏水防止対策を講じることで、水資源の有効活用が図られる。					
事業の公共性	必要性	1	1:日常生活に不可欠(必需) 2:日常生活に不可欠ではない(選択) 3:どちらにも該当しない	公益性	1	1:より多くの市民に提供(共同型) 2:特定の個人・団体等に提供(個人型) 3:どちらにも該当しない		
R2年度終了までに把握している環境の変化,障害,課題となっている事項	・特になし。							
R3年度の目標	・水圧調整局の造成工事を計画どおり進める。		R3年度の主な取り組み内容(予定含む)	・西部(1)水圧調整局建屋設計委託		特に環境変化,障害,課題等解決のため,R3年度で取り組む改善策	・特になし。	